

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	中島 清志君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	一宮 努君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	村井 英哉君
市民生活部長	舍利倉政司君
福祉保険部長	國分 幸和君
健康づくり推進部長	桐谷 和孝君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	内山 歩君
水道局長	立花 大功君
教育部長	八島 誠治君
中対馬振興部長	松井 恵夫君
上対馬振興部長	阿比留 裕君
美津島行政サービスセンター所長	藤田 浩徳君
峰行政サービスセンター所長	居村 雅昭君
上県行政サービスセンター所長	原田 勝彦君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	二宮 照幸君
監査委員事務局長	志賀 慶二君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開議

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

ただいまから議事日程第2号により、本日の会議を開きます。

日程第1. 市政一般質問

○議長（初村 久藏君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は4人を予定しております。

それでは、届け出順に発言を許します。1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 皆様、おはようございます。令和4年6月定例会の一般質問トップバッターを務めさせていただきます、1番議員の糸瀬雅之でございます。

昨年5月の初当選から、早いもので1年が過ぎました。市民皆様の声が1つでも2つでも行政に届きますように、今後とも全力で議員活動を頑張っていきたいと思っております。

今、対馬市は、3月の6,000万の対馬市職員による横領事件の問題や、新型コロナウイルスの影響による観光業界や飲食業界の経済的なダメージ、また、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の高騰や食料品の値上がりなど、対馬市民にとって不安材料ばかりで、明るい話題がありません。

比田勝市長にお願いしたいのは、対馬の将来設計も大事ではございますが、対馬市民2万8,500人、誰一人取り残すことなく、市民の思いを受け止めていただき、ぜひ対馬市独自の財源による経済対策を今後検討し、実行していただきますよう、強くお願いいたします。

それでは、通告に従いまして、一般質問をさせていただきます。

まず、有害鳥獣対策についてであります。

昨年6月にも一般質問をさせていただきましたが、今回は将来的な対馬の環境問題に関係する猪・鹿の捕獲後の処理方法について質問させていただきます。

近年、猪・鹿の被害は、対馬市民が感じておりますように、山林・農作物、また民家への侵入など、様々な被害が対馬島内で発生しております。

令和3年度、猟友会による捕獲数は、猪8,361頭、鹿1万1,200頭、合計1万9,561頭であり、これまで対馬市最高の捕獲頭数であります。

仮に、食肉加工用として年間2,000頭を使用するとしても、1万8,000頭近く対馬島内の山林に埋設処分されている計算であります。

対馬市が今後、SDGsを推進していく上でも食肉加工用を除く猪・鹿については猟友会の負担軽減を考え、新たに大型焼却施設を建設し、焼却処分を今後検討すべきと思いますが、市長の答弁をお願いいたします。

次に、佐須奈地区の安心安全なまちづくりについてでございます。

まず、1点目は、国道382号線、佐須奈やまねこトイレ付近から比田勝方面に向かう国道の将来的な歩道を含めた道路整備計画について質問させていただきます。

国道382号線は上対馬町比田勝を起点として巖原町までの対馬中心部を通る重要路線であり、対馬各地で長崎県が主体となり、道路整備が進められておりますが、私の地元、佐須奈地区の中心部を通る道路は大型車両などの通行や歩行者の安全確保に危険が及ぶ箇所があり、将来的に歩道を含めた道路整備を長崎県が中心となり、どのように進めていくのか、市長の答弁を求めます。

次に、2点目は、佐須奈地区の大雨水害対策についてでございます。

近年、世界的に地球温暖化の影響により海水面の上昇や大雨・台風などの影響により、全国各地で毎年甚大な被害が発生しております。今回は佐須奈地区の大雨水害対策について質問させていただきます。

佐須奈地区は、人口700人程度の地区であります。ここ数年、大雨により家屋の浸水や土砂流出災害など、毎年のように大雨が降るたびに心配をしなければなりません。佐須奈には県が管理している2級河川佐須奈川と、対馬市が管理している準用河川大戸川の河川がございます。今後の水害被害対策として、佐須奈湾や河川に堆積している土砂撤去が必要と思われれます。住民の安心安全な暮らしを守る上でも、将来的な整理計画について市長の答弁を求めます。

3点目は、佐須奈多目的施設用地の今後の利活用計画についてでございます。

現在、対馬市が管理している敷地は旧上県町時代に建設された石垣積みの用地でありまして、当時の計画はホテルや飲食店が入る複合型の施設の建設が計画されていたと聞いております。

その後、対馬市合併により計画が白紙の状態になり、現在までに利活用されていたのは公共工事の現場事務所や仮設の宿舎、イベント等の駐車場などの利用状況であります。

対馬市として、今後、この多目的施設用地をどのような利活用を考えているのか、市長の答弁を求めます。後で写真を参考に質問させていただきます。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） おはようございます。糸瀬議員の質問にお答えいたします。

はじめに、有害鳥獣対策についてでございますが、有害鳥獣の捕獲後の処理としましては、鳥獣保護管理法第3条の規定によりまして定められた環境省の指針により、適切な方法で埋設することとされているところであり、現状としましては、捕獲従事者個々が埋設処理を行っており、中には労力軽減のため自己の遊休地等を埋設場所として掘削し、地区の方へ開放しておられる方もいらっしゃいます。

昨年度の実績としましては、猪・鹿合わせて1万9,727頭のうち、埋設処理は1万5,950頭の81%となっております。

動物専用焼却炉を導入している自治体は県内において1自治体のみであり、導入した新上五島町に実態の聞き取りを行った結果、山間部から重い個体を搬出することは困難ということ、また立地的条件からも近隣の方以外の利用はほとんどなく、利用率としては12%と低くなっているとのことございました。

環境問題の観点から、焼却施設を設置し、個体の埋設から焼却処分に見直すべきではないかとの議員の御提案でございますけれども、焼却するほうが従事者の労力の軽減や衛生面、環境面を考えたときには望ましいとは考えております。

しかしながら、駆除頭数が極めて多い本市の場合、焼却能力等からも大型の焼却施設が必要となり、エリアが広い本市においては複数か所以上の設置が必要となります。

加えまして、運搬がネックとなり利用率が見込めない上に、多額のランニングコストなど、財政的負担が生じ続けることが懸念されるところであります。

また、市が支払う捕獲報奨金には、その埋設に係る経費も含まれていることから、今後も国の方針に沿って適切に埋設処理するよう指導をしていきたいというふうに考えているところでございます。

次に、国道382号線、佐須奈商店街から比田勝方面の歩道を含めた将来的な道路整備計画でございますけれども、北部地域の国県道改良事業は県において現在、樫滝工区、美止々佐護工区、豊工区、西泊工区、浜久須工区の5か所に着手しております。

佐須奈・佐護間の整備につきましては、平成22年に佐須奈総区長、佐護総区長、各地区長及び地元市議会議員をメンバーとして地域ぐるみで活発な活動を展開するために、道路改良促進委員会を立ち上げ、県への要望を行ってこられた経緯がございます。

その中で、大地バイパスが平成29年に完成し、続いて美止々・佐護間の整備に着手しており、計画ルートも決まり、詳細設計まで完了しております。今後、重点的に整備をしていくとのことでございます。

佐須奈の中心部においては、現時点で計画ルートが決定していない状況であり、限られた予算の中で、まずは現在整備している工区の早期完成を県へ要望していくよう考えております。

一方、議員御指摘のとおり、元十八銀行先のカーブにつきまして、大型車との離合ができない状況や、過去にも事故等が発生していることから、早期の解消が必要と認識しておりますので、市といたしましても県への要望を行ってまいりたいと思っております。

また、歩道の整備についてでございますけれども、県においては令和元年度にやまねこトイレ前の昭和橋歩道拡幅工事を実施しております。

また、今年度からは備蓄倉庫前付近からグループホームまでの120メートル間を実施に向けて、既に設計に着手しているとのことございまして、市といたしましても事業が円滑に進むよう、協力をしてまいりたいと思っております。

今後におきましても、未整備区間の早期着手に向けて引き続き県と連携し、本市の重要な社会基盤であります道路整備の推進に努めてまいります。

次に、大雨水害対策における河川改修及び河川・港湾土砂撤去等の整備計画についてでございますけれども、佐須奈地区には議員御指摘のとおり、2つの大きな河川があり、1つは舟志方面から2級河川佐須奈川と、比田勝方面からの準用河川大戸川があり、佐須奈川に合流しております。

河川の維持管理でございますが、県では護岸や河道の状況を把握するため、地元要望に加えて

出水期の前などに点検を実施しております。点検の結果、堆積が著しく川の流れを阻害している場合や護岸崩壊等の危険性が高い箇所については重点的に補修を行っており、佐須奈川の堆積土砂の撤去につきましては令和2年度にそば道場の裏、令和3年度は佐須奈浄水場より下流を実施しております。

今年度も調査を行い、部分的に堆積している箇所については、令和5年度に実施する予定であるとのことでございます。

大戸川につきましては、本市が管理する準用河川であり、土砂が一部堆積しておりますが、流れを阻害している状況ではないと考えておりますので、今後の状況を見極めながら土砂の撤去を検討してまいります。

また、県が管理する港湾区域内の土砂の除去につきまして、堆積の状況を調査し、緊急性が高いと判断される箇所については今後、対応を検討していくとのことでございます。

今後におきましても、市民の安心・安全を確保するため、県と市が連携して河川の維持管理に努めてまいります。

最後に、佐須奈多目的施設用地の今後の利活用についてでございます。

旧上県町時代に佐須奈地区を開発整備する上県町佐須奈地区開発整備構想検討会が発足し、佐須奈地区開発基本構想が平成7年5月に策定されています。

上県町佐須奈多目的施設用地は、その基本構想の1つとして旧上県町が佐須奈地区本戸88戸の共有地を管理する佐須奈米農会と、平成7年6月から20年間の土地賃貸借契約を締結し、平成8年2月から12月にかけて2億4,072万5,000円を投じ、コンベンションホールや宿泊機能などを有する多目的滞在型施設建設用地として造成しております。

しかしながら、この佐須奈地区開発基本構想は、地権者との交渉が進まず、頓挫することとなり、造成地の有効活用がなされていないと伺っております。

この間、平成27年5月から令和3年4月まで一般国道382号道路改良工事の現場事務所や九州電力(株)送配電カンパニーによる送配電鉄塔工事資材置き場及び防衛省施設工事現場作業員宿舎としての利用はございましたが、その後の利活用方法は決まっておりました。

そこで、令和2年10月27日、上対馬振興部内に上県町佐須奈多目的施設用地利活用検討会を設置し、本年3月までに計4回の検討会を実施しております。そのうち2回の検討会には関係10団体の代表者をアドバイザーとして招聘し、利活用案の提案及び絞り込みが行われ、先月5月27日に同検討会から検討結果の報告を受けたところであります。

報告書によりますと、上県町佐須奈多目的施設用地の今後の利活用については、中長期的な視点に立った利活用案として、地元経済の発展と活性化を図るため、対馬の良質な農林水産物の加工所用地としての利活用、2点目といたしまして、朝鮮通信使ゆかりの地の観光ルートの確立に

つなげるため倭館の縮小サイズの街並みの復元用地としての利活用など、5件の利活用案の報告があつております。

上県町佐須奈多目的施設用地は、8,632.84平方メートルと広い用地でありますので、同検討会から報告された利活用案を参考に、有効的な利活用ができるよう、今後とも慎重に検討してまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ありがとうございます。

まず、有害鳥獣対策について、お尋ねをしていきたいと思っております。

まず、市長にお尋ねしたいのが、将来的に猪・鹿が何頭まで生態系に残るのが適正なのか、お答え願えないでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 猪は恐らくゼロでいいと思います。

しかしながら、鹿につきましては、適正頭数は環境省からの報告によりますと3,500頭、いうふうに報告を受けております。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 昨年、私はこの一般質問の中で、有害鳥獣の件についてお尋ねをして、6月の22日、昨年ですね、佐護地区の区長並びに伊奈地区の区長さんから要望書が出ておって、そして7月の27日に中山地区の集会施設において佐護地区の区長さん、伊奈地区の区長さん、そして市の職員、自然共生課の職員もこれらについて現地の視察を行い、その後、要望書に焼却施設の設置についても要望があつたと思いますが、その後、行政側で話し合い等、どのようにされたのか、お願いします。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

焼却炉の設置に向けて、まず、検討するに当たりまして、国庫事業を利用するにつきましては、ビーバイシーの観点から、費用対効果ですね、利用率が重要となってまいりますので、捕獲者へヒアリングを行っております。

それと並行しまして、他の自治体での類似施設がないのかという調査を行ってまいりました。その結果ですが、従事者の意見をお聞きしますと、捕獲者は焼却施設を望んでいるのかという点。それから捕獲現場からその施設ができたときにそこまで持っていってくれるのかと、その利用率の観点からお聞きしますと、やはり駆除した個体の腐敗臭であるとか、ダニであるとか、いろいろな状況で、なかなか車に積んでまで運びたくない、すぐその場で埋設したいというようなことが、

捕獲者の大半の意見でございました。

それで、利用率についてちょっと不安が残っている、なかなか踏み込めないような状況でございます。

それで、また類似団体も調査したんですけれども、福岡県内、また佐賀県内には自治体が運営してるそういった焼却炉がございませんでした。先ほど市長が答弁しましたように、県内では新上五島町に1件ございましたが、ここも、やはり対馬の従事者と同じような意見でございまして、利用率が約1割ぐらいしかないといった状況でございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ほかの自治体と、また対馬市の自治体。いろいろと捕獲者の意見はございますけれども、これはやはり一部の捕獲者の意見であるかもしれないし、やはり全体的なアンケートを取られたかどうか分かりませんが、やはり対馬市が今から先、SDGs、これを進めていこうとしてるわけですよ。この猪・鹿の問題と、この自然の山の、山林の中の問題。これは非常に関連性がこれからあってくるわけですよ。SDGsの、14番、海の豊かさを守ろう、15番は陸の豊かさを守ろう。このように取り組んでいこうという、思われてるわけですよ。対馬市は。それで、やはり対馬島内の山林なり下草がもうない状態で、今、こういうふうな埋設処理をやられてるということで、そこら辺との兼ね合いが非常に今から先、関連性があってくると思います。

今、猟友会の方々も大変今、高齢化してきております。そこで、やはり猟友会の人数が今、調べますと、対馬島内で242名いらっしゃるわけですよ、242名。その中で、やはり少ないのが上対馬町が今、27名、峰町が31名、豊玉町が23名の猟友会の会員の方がいらっしゃいます。しかし、やはり今から先の処理の方法を考えていかないと、対馬は、頭数はほかの自治体に比べたら全国一番なんです。その一番のやり方を、頭数を取るやり方を組織としてやっていかないと、今後、だんだん猟友会の会員も減ってくると思います。

そこで、私は1つ提案があるんですけど、まず猟友会の数を増やす。今、242名いますけど、これを倍の500名にする。するには、まず対馬島内建設業協会こちらの方に協力していただく。猟友会の資格を建設業協会に協力して取っていただく。そして各工事現場に罠ないし箱罠ですね、それを仕掛けていただく。そして猟友会の方、やはり軽トラと経費が非常に負担になっております。その中で、軽トラックを各町並びに対馬島内で3つでもいいでしょう、3つに分けて軽トラックを市が導入する。市が導入することによって猟友会の負担の軽減をして、専門の会計年度任用職員、猪・鹿が罠にかかりました、そしたら会計年度任用職員によって処分に、殺すこと、殺すというのは失礼ですけども、殺処分、処分がやはり負担になってるわけですよ。それを市の

職員で雇っていただいて、その処理から一時保管場所を設置をする。分かりますか。山の中じゃなくて一時保管場所まで持っていく。そして私が言う焼却施設へ保管場所から運搬をする。そういった流れをできないかなというのがございます。

それは、市長ないし農林水産部長あたりで検討していただいて、とにかく猟友会の数を増やさない、今のこの現状、対馬の現状の猪・鹿の非常に個体数は減らないと思っておりますので、ぜひそこら辺の体制づくりを取り組んでいただけたらなということを思っております。

市長、最後に、この猪・鹿の問題についてはいろいろと対馬市挙げての取組になってくると思いますから、最後にちょっと一言よろしくお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 猟友会の会員を倍に増やすということで、ありがたい御提言だというふうに思っております。

また、そのほかにも建設業協会等との連携とか、そしてまた各地域で会計年度任用職員を活用した有害鳥獣対策ということで、このことについてはまだまだ、要は目標、そして理想ということと、本当に費用対効果と申しますか、そういったところを検討していかなければならないという思いを持っておりますので、今後の検討とさせていただきたいというふうに思っております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 次に、佐須奈地区の安心安全なまちづくりについて、まず写真の1を御覧ください。

この写真の1は、まず佐須奈の郵便局がございまして、こちらから比田勝方面に向かうこの右に90度の、このカーブのところでございます。

先ほど市長が答弁を申されたとおり、やはりこの場所につきましては、市長も通るたびに思われてると思っております。

やはりこの直線ですね、郵便局から右に曲がるこの民家の方々が、やはり以前に3回ほど車両がここに突っ込んできて、シャッターを破損して、そのような事故が起こっております。それは最近ですと、昨年11月頃にも一度、この車が直線からぶつかって、この民家の方、非常に困られております。やはりこのように次に、これは先ほどのアップした写真ですね。この真ん中に、直線先であるこの民家の過去に3度ほど事故が起こっておる。最近では先ほど言いましたように11月に車が破損してシャッターをやり変えてるという状況でございます。

そのように、この佐須奈のこの町は、非常に整備を今までに県のほうも国道をいろいろやられてますが、この町の中の整備っていうのは、佐須奈は昔から、やはり遅れがっております。

先ほど紹介しました角の用地ですね、こちらの。今、こちらの用地の部分につきましても、や

はり地元の方は前向きに考えております、この用地は。だから地元のこの用地の持ち主は、ぜひ県のほうに要望してやってほしいということをおっしゃっておりますので、対馬市からもぜひ強くこの部分については県のほうに要望していただきたいと思っております。

それと、やはり写真の1の佐須奈は、町の中を全部通りますと、歩道がないんですよ、歩道が。ですから、通学路についても非常にみなさん、大型車両が離合する際にも非常に困っております。ぜひこの歩道も含めた整備も、将来的な整備も対馬市が中心となって県のほうに話を持って行ってほしいと、強く要望したいと思っております。

市長、最後に一言よろしく申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この佐須奈地区の国道の状況については、議員のほうからも御指摘がありましたように、私自身も特にこの十八銀行から先の90度のこのカーブについては、どういふふうにすれば早く施工ができるかなというふうに、いつも悩んでいるところでございまして、このことにつきましては機会あるたびに何とかしてできんものかというふうな相談もしているところでございます。

そして、また佐須奈地区の確かに国道については、歩道がございせんけども、歩道を作る、新設するということになりますと、やはりそこには相当の幅員を広げなければならないというふうなことで、用地の取得等もあろうかと思っております。そういうことで、今後、将来的にできるように、県と協力しながら要望をしていきたいというふうにあります。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ありがとうございます。

次に、写真の4を御覧ください。

この写真の4は、佐須奈、こちらにそば道場がございまして、こちらに上県行政サービスセンターがございまして、これ、上空から見た、こちらが、県が管理している佐須奈川ですね。こちらのほうが、小さい川が市が管理している準用河川の大戸川です。これが佐須奈の湾に流れ、河川の水が流れているわけですが、今回の質問は、主に県の河川の佐須奈川でございまして、この佐須奈川の干潮の際には過去数十年に及ぶ堆積した土砂が見えるほど堆積しております。この近くには長崎県警察の警備艇の船や漁船も係留してあるわけです。この警備艇の船までだんだんと影響は出ております。これは先月、県のほうともこちらの河川については河川課、県の港湾課、佐須奈の区長さん、北部建設事務所の所長さんもこの河川については立ち会いを行いました。

しかし、やはりこの河川の改修となると莫大な予算がかかります。ですから、今は現段階では河川の土砂の掘削が一番的確な方法だと思っておりますので、ぜひこちらのほうも対馬市が中心となって県のほうにもう一度要望していただきたいと思っております。

次に、写真の5を御覧ください。

この写真の5は、こちらに佐須奈の消防署、上県の出張所がございます。隣にスーパーマーケットがございます。そして体育館がございます。この一番ここが重要なところなんです。この場所は、佐須奈で一番、冠水の被害があつて場所でもあります。2019年の9月に、この消防署を含め隣のスーパー裏の消防職員の宿舎、こういったところの浸水被害があり、消防車両は近くのそば道場に避難をする現状でございます。そして、近くの住民もこの大雨の際には高台に車両を避難させているという状況でございます。

このように、消防車両等を避難させるときに緊急を要する車両等の指示系統はどのような、消防の指示系統がなされているのか。消防長にお尋ねを申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 消防長、主藤庄司君。

○消防長（主藤 庄司君） 糸瀬議員の御質問にお答えいたします。

議員おっしゃられるように、先般、令和元年の9月22日の大雨で、庁舎、それと官舎が浸水したことは事実でございます。それを教訓にいたしまして、敷地内にフェンスの基礎部分であるとか、車庫前の路面であるとかに目印をつけまして、一定のところまで浸水した場合には、車両を避難させるということにいたしております。

議員御指摘のとおり、避難場所から浸水により車両の運用が不可能なことも懸念材料としてございます。このように、車両を動かしたくても物理的にどうしても動かすことができないと、そのようなケースもあるかと思えますけれども、隊員の安全を第一に考えておりますが、車両通行が不可能な箇所においては人力により患者さんを搬送して車両で搬送すると。

例えば、佐須奈地区が冠水により車両の通行が不可能であるということであれば、比田勝方面から発電所付近まではアプローチができるということであれば、そこまで比田勝の救急車を向かわせて、それで収容して病院まで搬送するなどの手段も考慮しなければならないかと考えているところでございます。

なお、参考までに、昨日議決をいただきました今年度購入予定のポンプ車には、救助用のボートも積載できることとしている仕様にしておりますので、冠水時に活用できるのではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 新しい車両もこの上県、佐須奈のほうに入る予定になっておりますので、ぜひこのような訓練等、今後も佐須奈に特養の老人ホームがございます。老人ホームのやはりそういう緊急の避難、そういった状況に応じて訓練等もしておく必要があるのではないかと考えております。よろしくお願いいたします。

次に、佐須奈の、この災害に対する、土砂災害に対する関連なんですけど、上県行政サービスセンター長にお尋ねをしたいんですが、佐須奈の土砂災害特別警戒区域等は把握されてますでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 上県行政サービスセンター所長、原田勝彦君。

○上県行政サービスセンター所長（原田 勝彦君） 把握はしてございますけども、把握してる分が結構、どこの地区もそうだと思うんですけど、災害地区の観点から崩落するように場所等は、島内どこでも人家があるところは、そのような区域になってるかと存じております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 私の佐須奈の件についてお尋ねしたんですが、行政サービスセンター長、佐須奈のセンター長ですので、災害時の避難場所、佐須奈に5カ所等ございますが、そのような連絡体制等は職員の中でも取られてるのでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 上県行政サービスセンター所長、原田勝彦君。

○上県行政サービスセンター所長（原田 勝彦君） 災害対応といたしましては、現在、市全体で災害が来る、大雨が来る場合、避難に要する時間が、今の現段階ではある程度、把握できますので、避難所に総務部のほうから、災害担当のほうから、行政無線を使って指示が出ているかと思っております。

それで、近々の場合は、こちらのほうから災害の順位って申しますか、区別の度合いが上がると、そういったように区長さんからの御連絡等があって、そこを使いたいと、緊急に、そういった御連絡があれば、対応するようにしております。

通常の場合は、行政サービスセンター管内では、以前は上県公民館ですね、そこを使っておりました。それでは少し老人とか高齢者の方のバリアフリーの観点から、今現在は社協の上県窓口センターを利用するというふうに昨年から変更しております。

仁田地区においては、仁田コミュニティーセンターを慶長会さんのほうと協定を結んで借り上げるようにしております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ありがとうございます。

佐須奈には5カ所避難場所がございますので、そういった際には職員が中心となり、しっかりとした災害対応をしていただきたいと思いますと思っております。

次に、この災害に対する、被害に対する市民の見舞金等に対する部分についてなんですけど、やはりこういった被害に関して水害の見舞金等が市役所のほうで規定がなされてますが、床上浸水

等には1万円等の支給がされるということとなっておりますが、やはり世帯だけではなく事業者等にも平等に支給するべきではないかと思いますが、もう一度、条例等を見直していただき、今後の検討をしていただけないかと思っております。

そして、やはりこういった被害の状況に関しては、どこも対馬、佐須奈だけではございません。対馬島内、各地区に配属をされております地域マネージャー等も区長と一緒に被害状況を取れる連絡体制を市役所職員にも、ぜひ市長、通達のほうをよろしくお願いいたします。

次に、最後の多目的施設用地についてでございます。

写真の6を御覧ください。

最後は、多目的施設用地なんですけど、これは佐須奈の合併当初、合併前からの旧上県町時代の施設の用地として建設をされたわけではございますけれども、やはりこの活用方法がまだに見えてこない。この活用方法が見えてこないということは、先ほど市長のほうからも答弁がありましたように、ぜひいろいろと前向きな施設の用地を検討していただきたいと思っておりますので、やはりこういった、私は要望といたしまして、先ほど市長が言いましたけども、民間等の島外から、今、老人ホームとか、日本だけでなく韓国系の企業とか、そういった人口が増える対策、増える企業誘致を考えてほしいと思っておりますので、ぜひそこら辺を検討していただきたいと思っております。

そうすることによって、対馬市に税金が入るわけでございますので、今年度中にしっかりとした方向性を示していただき、ぜひこの多目的施設につきましてはいい活用方法をお願いしています。

市長、最後に力強いお答えをお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この佐須奈の多目的用地につきましては、今、議員のほうから民間の力を活用してはどうかというような御意見を伺いました。

実は、私もここに5案が出てはきておりますけれども、議員と同じように、やはり今からは民間の力を活用することが一番重要じゃなかろうかなというふうに思っておりますので、そこら辺もふまえて今後、しっかりと前向きに検討させていただきたいと思えます。

以上です。

○議長（初村 久藏君） いいですか。

これで糸瀬雅之君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は11時5分からといたします。

午前10時51分休憩